



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 アイエーグループ 株式会社  
コード番号 7509 URL <http://www.ia-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長  
四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 古川 教行  
(氏名) 岡野 良信  
配当支払開始予定日

TEL 045-821-7500  
平成27年12月7日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	16,325	△0.8	51	△70.9	217	△46.9	101	△57.4
27年3月期第2四半期	16,460	2.6	176	△69.4	409	△42.3	238	△46.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 106百万円 (△56.9%) 27年3月期第2四半期 247百万円 (△44.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	12.25	—
27年3月期第2四半期	27.69	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	31,605	13,934	44.1
27年3月期	31,574	14,010	44.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 13,934百万円 27年3月期 14,010百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
28年3月期	—	12.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,800	4.4	1,350	39.2	1,600	8.5	1,000	20.9	119.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	10,126,800 株	27年3月期	10,126,800 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	1,853,374 株	27年3月期	1,752,175 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	8,307,412 株	27年3月期2Q	8,625,973 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記.....	10
(継続企業の前提に関する注記).....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	10
(セグメント情報等).....	10

## 1.当四半期決算に関する定性的情報

### (1)経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。その一方、アベノミクス政策の息切れ感や中国経済に減速懸念が見受けられるなど、その先行きには慎重な見通しが必要な状況にあります。

そのような中、当社グループにおきましては前年同期と比較して、カー用品事業は増収増益となりましたが、プライダル事業及び建設不動産事業が減益となるなど、厳しい経営を余儀なくされました。

カー用品事業につきましては、平成26年5月に株式会社オートバックス神奈川の株式取得によりオートバックス3店舗、スーパーオートバックス1店舗を加えた32店舗の営業となりました。利益率の高いピットサービス部門の強化を行うとともに、スケールメリットを生かした販売促進の実施等による販売管理費の節減の結果、増収増益となりました。

プライダル事業につきましては、平成26年9月、及び平成27年3月に開業しました2式場を加えた7式場による営業となりました。このことにより、施行組数の増加は図られましたが、既存の式場における施行組数及び施行単価が前年同期に比べて減少したこと、並びに施設費の増加等により増収減益となりました。

建設不動産事業につきましては、平成27年4月に業容拡大の一環としてコンテナのユニット建築を行う株式会社IDMobileを設立しました。しかし、前年同期は大型高収益物件の売却を行ったことから、前年同期と比べて減収減益となりました。

その他の事業につきましては、コメダ珈琲を平成26年9月に2店舗、同年10月に1店舗オープンさせ3店舗による営業となりましたが、平成26年7月にコンピューターソフト事業の事業譲渡を行ったことなどにより、減収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,325百万円と前年同期比0.8%の減収となりました。また、営業利益につきましては51百万円(前年同期比70.9%減)、経常利益につきましては217百万円(前年同期比46.9%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は101百万円と前年同期比57.4%の減益となりました。

### (2)財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、31,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円の増加となりました。流動資産は9,537百万円となり、前連結会計年度末に比べ288百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものです。固定資産は22,068百万円となり、前連結会計年度末に比べ257百万円の減少となりました。これは主に建物及び構築物の減少によるものです。

負債は17,671百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円の増加となりました。流動負債は8,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ254百万円増加しました。これは主に買掛金の増加によるものです。固定負債は9,486百万円となり、前連結会計年度末に比べ147百万円減少しました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

なお、純資産は13,934百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円の減少となりました。これは主に自己株式の増加によるものです。

自己資本比率は44.1%となり、前連結会計年度末に比べ0.3ポイントの低下となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,529百万円の収入(前年同四半期は1,089百万円の収入)となりました。これは主に減価償却費の計上等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、482百万円の支出(前年同四半期は2,902百万円の支出)となりました。これは主として有形固定資産の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、728百万円の支出(前年同四半期は3,015百万円の収入)となりました。これは主として長期借入金の返済によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ318百万円増加し、1,643百万円となりました。

## (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月8日の発表から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

### (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

#### (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,374,663	1,693,128
売掛金	1,101,617	1,080,449
たな卸資産	5,449,524	5,700,132
繰延税金資産	376,233	399,500
その他	960,408	677,486
貸倒引当金	△12,949	△13,055
流動資産合計	9,249,498	9,537,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,724,043	9,341,770
土地	5,039,798	5,131,239
建設仮勘定	10,800	295,164
リース資産(純額)	330,921	282,721
その他(純額)	647,138	561,765
有形固定資産合計	15,752,702	15,612,660
無形固定資産		
電話加入権	7,784	7,784
のれん	349,263	306,492
その他	85,682	85,351
無形固定資産合計	442,730	399,628
投資その他の資産		
投資有価証券	198,115	205,257
長期貸付金	25,219	24,051
長期前払費用	508,082	476,214
差入保証金	4,437,653	4,392,732
繰延税金資産	855,887	851,716
その他	128,447	128,856
貸倒引当金	△23,487	△23,039
投資その他の資産合計	6,129,920	6,055,789
固定資産合計	22,325,353	22,068,079
資産合計	31,574,851	31,605,720

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,313,816	1,625,030
短期借入金	3,368,720	3,092,444
リース債務	119,969	100,171
未払法人税等	82,775	153,084
未払消費税等	194,690	222,268
未成工事受入金	38,626	34,967
賞与引当金	386,977	438,662
役員賞与引当金	52,000	-
ポイント引当金	201,784	220,469
繰延税金負債	83,614	83,076
その他	2,087,194	2,214,703
流動負債合計	7,930,169	8,184,878
固定負債		
長期借入金	6,602,911	6,401,448
リース債務	215,281	185,752
長期預り保証金	1,191,650	1,242,060
退職給付に係る負債	341,901	342,392
役員退職慰労引当金	200,000	225,000
資産除去債務	1,062,490	1,070,093
繰延税金負債	16,500	16,500
その他	3,535	3,233
固定負債合計	9,634,271	9,486,481
負債合計	17,564,441	17,671,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	11,852,922	11,854,185
自己株式	△1,032,989	△1,115,197
株主資本合計	13,958,824	13,877,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,987	58,679
繰延ヘッジ損益	△2,402	△2,196
その他の包括利益累計額合計	51,585	56,482
純資産合計	14,010,410	13,934,361
負債純資産合計	31,574,851	31,605,720

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	16,460,525	16,325,582
売上原価	9,706,658	9,214,452
売上総利益	6,753,866	7,111,129
販売費及び一般管理費	6,577,345	7,059,727
営業利益	176,521	51,402
営業外収益		
受取利息及び配当金	15,236	16,219
受取手数料	63,467	44,101
受取家賃	47,819	59,164
固定資産受贈益	73,844	-
その他	83,936	87,540
営業外収益合計	284,303	207,025
営業外費用		
支払利息	29,349	27,720
その他	21,536	13,230
営業外費用合計	50,886	40,951
経常利益	409,938	217,477
特別利益		
事業譲渡益	70,000	-
固定資産売却益	1,863	124
国庫補助金	6,799	-
特別利益合計	78,663	124
特別損失		
事業撤退損	15,447	-
固定資産除却損	5,877	97
固定資産圧縮損	6,799	-
その他	416	-
特別損失合計	28,541	97
税金等調整前四半期純利益	460,060	217,503
法人税等	221,185	115,745
四半期純利益	238,875	101,758
親会社株主に帰属する四半期純利益	238,875	101,758

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	238,875	101,758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,631	4,691
繰延ヘッジ損益	21	205
その他の包括利益合計	8,653	4,896
四半期包括利益	247,528	106,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,528	106,655

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	460,060	217,503
減価償却費	524,941	661,623
のれん償却額	35,675	42,771
引当金の増減額(△は減少)	△68,001	43,517
受取利息及び受取配当金	△15,236	△16,219
支払利息	29,349	27,720
売上債権の増減額(△は増加)	352,040	21,167
たな卸資産の増減額(△は増加)	452,275	△250,607
仕入債務の増減額(△は減少)	△43,273	311,214
事業譲渡損益(△は益)	△70,000	-
その他	168,689	421,493
小計	1,826,521	1,480,184
利息及び配当金の受取額	3,378	2,800
利息の支払額	△30,191	△27,572
法人税等の支払額	△879,668	△102,256
法人税等の還付額	169,855	176,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,089,893	1,529,446
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,546,735	△473,205
有形固定資産の売却による収入	18,527	414
無形固定資産の取得による支出	△13,931	△15,155
投資有価証券の取得による支出	△100	△224
貸付金の回収による収入	7,061	7,095
長期前払費用の取得による支出	△26,042	△5,650
差入保証金の差入による支出	△138,339	△47,107
差入保証金の回収による収入	71,887	52,036
定期預金の預入による支出	△50,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	50,000	50,000
事業譲渡による収入	72,931	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△357,735	-
その他	10,225	△459
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,902,251	△482,255
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	610,000	△350,000
長期借入れによる収入	3,400,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△692,202	△877,739
配当金の支払額	△155,955	△101,181
その他	△146,506	△149,805
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,015,335	△728,726

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,202,978	318,464
現金及び現金同等物の期首残高	1,408,898	1,324,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,611,877	1,643,128

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	カー用品 事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,632,419	4,458,822	1,830,992	15,922,234	538,290	16,460,525	—	16,460,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,652	144	149,260	152,057	733,843	885,900	△ 885,900	—
計	9,635,072	4,458,967	1,980,252	16,074,292	1,272,133	17,346,426	△ 885,900	16,460,525
セグメント利益又は損失(△)	△ 69,154	19,813	214,334	164,993	6,047	171,041	5,479	176,521

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンピュータソフト事業、  
経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「カー用品事業」セグメントにおいて、株式会社オートボックス神奈川を連結子会社化したことに伴い、当第2四半期連結累計期間において、のれんが425,710千円発生しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	カー用品 事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,043,617	5,066,660	1,021,796	16,132,074	193,507	16,325,582	—	16,325,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,181	—	140,357	142,538	649,866	792,404	△ 792,404	—
計	10,045,798	5,066,660	1,162,154	16,274,613	843,373	17,117,986	△ 792,404	16,325,582
セグメント利益又は損失(△)	118,169	△ 172,296	139,385	85,258	△ 39,174	46,084	5,318	51,402

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代  
行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。